

診断学

Diagnostics

シリーズ責任者：臨床検査医学 教授 信岡 祐彦

1. 学習内容

診断とは、診察や検査などによって得られる情報に基づいて患者の状態を正しく解釈する技術を言う。従って正しい診断を行うためには、正確な情報収集とそれを解釈するための知識と技術が必要である。このシリーズ講義では、正しい診断を行うための知識と技術を学ぶとともに、得られた情報を整理統合し、分析できる能力を身に付けることを目標とする。具体的には、①病歴のとり方と現症の診察、およびその記載法、②検査の選択と結果の解釈、③問題解決のプロセス、④臨床推論が中心となる。

2. 到達目標

- 1) 診断のプロセスを述べることができる。
- 2) 病歴、身体診察から得られる情報について述べることができる。
- 3) 診断のプロセスにおける臨床検査、画像検査の位置付けを述べることができる。
- 4) 問題志向型システム（POMR）に基づいた診療録記載を行うことができる。
- 5) 患者に生じた健康問題を明らかにし、対応を意思決定するために問題点を予測し、論じることができる。

3. 学習上の注意点

病歴と身体診察に関する授業は、第4学年で学ぶ基本的診察法やOSCEに繋がる内容となっていますので、基礎的知識を十分に習得するようにしてください。診断のプロセスの中で臨床検査は必須の項目ですが、この詳細については別に臨床検査のシリーズ講義があるので、これを参考にしてください。

4. 教科書・参考書

教科書：『内科診断学 第3版』（医学書院）、福井 次矢／奈良信雄（編）

診断学に関する一般的な教科書。症候別、疾患別それぞれの記載があり、初学者の入門書として適当である。

参考書：『Textbook of Physical Diagnosis』（SAUNDERS）、Mark H Swartz 著

病歴と身体診察に関する教科書。参考となる図表や写真が多い。

5. 成績評価

評価項目	実施回数	評価割合	備考
定期試験	1	90 (%)	
随時試験	1	10 (%)	中間試験として実施する

6. オフィスアワー

所属	役職	氏名	時間	場所	連絡先
臨床検査医学	教授	信岡 祐彦	毎週月曜日 午前 8:00～8:45	明石会館 5 階 臨床検査医学講座医局	2512(内線) PHS 8-0658

メールアドレスは @marianna-u.ac.jp が省略